

# けんしんよう

KENSHINYO MINI REPORT SEPTEMBER

## ミニレポート 2021

令和3年度上半期報告  
(9月30日現在)

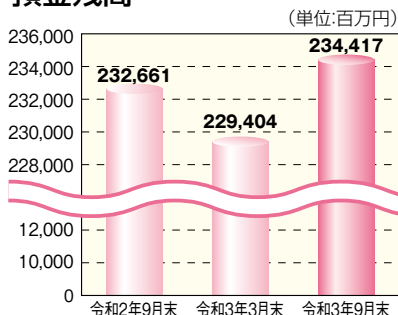


群馬県信用組合

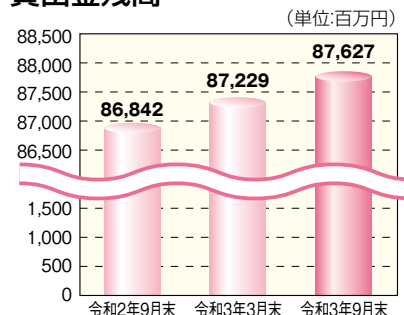


## 預金・貸出金残高の状況

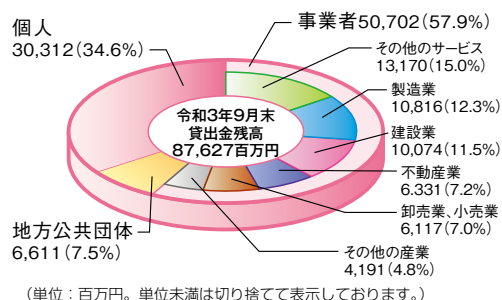
### 預金残高



### 貸出金残高



### 貸出金業種別残高・構成比

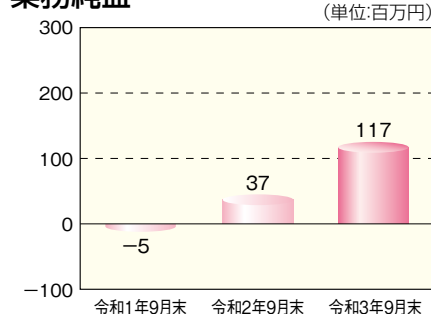


預金については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費を控えられた個人の方々の預金が歩留まりしたこと、県や市町村による緊急経済対策資金(融資)をご利用された事業者さまの資金の一部が歩留まりしたことなどから、前期から大幅な増加を見せました。

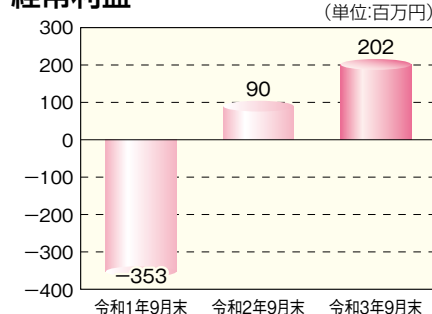
貸出金についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上げが減少するなどした事業者さまが緊急経済対策資金(融資)をご利用されたことなどから、前期から増加しています。

## 損益の状況

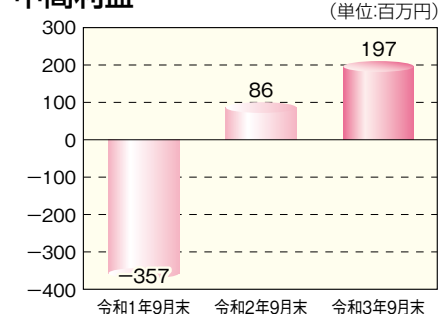
### 業務純益



### 経常利益



### 中間利益



(注)中間利益は当期純利益を表します。

業務純益とは、本業での収益力を表す指標です。

令和3年度上半期においては、4年前から取り組みを進めている構造改革により経費が大きく減少したことなどから、前期を大きく上回る利益を計上することができました。

経常利益および中間利益についても、経費削減に加えて本業での収益が確保できたことや、株式等売却益を計上したことなどから、前期から大幅に増加いたしました。

## 有価証券の状況

(単位:百万円)

項目	令和3年3月末 評価損益	令和3年9月末			前期末比 評価損益
		取得価額	時価	評価損益	
満期保有目的の債券	116	2,074	2,180	106	△ 9
その他有価証券	514	59,781	60,336	555	41
株式	△ 165	1,074	834	△ 240	△ 75
債券	425	49,762	50,278	516	90
その他	254	8,943	9,224	280	25
子会社・関連会社株式	—	10	10	—	—
合計	630	61,865	62,527	662	31

(注1)「その他」は外国証券と投資信託等です。

(注2)有価証券の「時価」は、上場有価証券については決算日時価、非上場有価証券については価格等の算定が可能なものは時価相当額(公募債券については証券業協会が公表する売買参考統計値等、私募債券については証券会社等が算定する評価額等、投資信託受益権については基準価額)、その他のものは帳簿価額です。

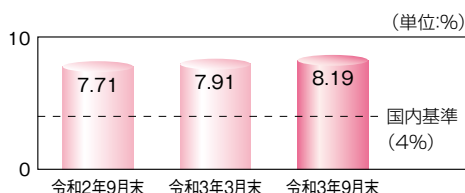
(注3)単位未満は切り捨てて表示しております。

(注4)金銭の信託、デリバティブ商品の取扱いはありません。

## 自己資本の充実の状況

金融機関の健全性を見る代表的な指標が自己資本比率です。自己資本比率とは、金融機関が保有する資産のうち、毀損する(損失を被る)可能性がある資産に対する自己資本の割合のことです。

自己資本比率は国内で業務を行う金融機関の場合は4%以上が必要とされ、これを下回った場合は、法律に従って金融機関に業務改善や業務停止などの早期是正措置が発動されます。これは金融機関の経営の悪化を未然に防止するための制度です。



令和3年9月末の当組合の自己資本比率は8.19%で、令和3年3月末(7.91%)から0.28%上昇しました。

国内基準(4%)を大きく上回る水準を保っており、経営の健全性や安全性を十分に備えております。

今後も当組合は、利益を毎年着実に積み上げること等により、自己資本の充実に努めてまいります。

自己資本比率  
の計算

$$\frac{\text{自己資本の額 } 7,774 \text{ 百万円}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額 } 94,900 \text{ 百万円}} = 8.19\%$$

## 自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項目	令和3年3月末	令和3年9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額	7,547	7,884
うち、出資金及び資本剰余金の額	730	870
うち、利益剰余金の額	6,820	7,014
うち、外部流出予定額(△)	3	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	242	182
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	242	182
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	16	16
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	7,806	8,083
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	13	11
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	13	11
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	13	17
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	183	194
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	106	85
信用協同組合連合会の対象普通出資等の額	—	—

項目	令和3年3月末	令和3年9月末
特定項目に係る10パーセント基準超過額		
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額		
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	317	309
自己資本		
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	7,488	7,774
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	90,577	90,820
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△413	△410
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)	—	—
うち、繰延税金資産	—	—
うち、前払年金費用	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△486	△483
うち、上記以外に該当するものの額	72	72
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	4,080	4,080
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	94,657	94,900
自己資本比率		
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	7.91%	8.19%

## 中小企業の経営支援に関する取り組み

当組合は、営業担当者等が事業先をこまめに訪問しており、創業・新事業等の立ち上げを希望するお客さまはもちろん、創業段階を経て成長段階を迎えた事業先についても、その段階で発生するさまざまなお客さまのニーズをお聞きして、的確なアドバイスを行うよう取り組んでおります。

そのために、創業・企業再生基礎研修等に職員を派遣し、職員の能力向上に努めるとともに、創業や新事業展開を希望されるお客さまに役立つ情報を提供するため、(株)日本政策金融公庫と業務提携しております。

また、各店舗には創業・新事業のほか、事業承継や新型コロナウイルス対策に関する相談窓口を設置しており、経営相談や制度資金等に関する紹介もおこなっております。

### 創業・新事業開拓の支援状況

(平成29年4月から令和3年9月まで)

(単位:件)

(件数)	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度上期
創業支援	4	17	14	14	13
新事業支援	8	6	15	2	3
計	12	23	29	16	16

## 不良債権の状況

当組合の令和3年9月末の不良債権の状況は、自己査定結果に基づいて算出した結果を「金融再生法ベースによる開示債権」として開示しております。

令和3年9月末の不良債権は令和3年3月末から251百万円増加し、5,702百万円となりました。

また、不良債権比率は6.50%で、令和3年3月末(6.24%)から0.26%上昇しました。

### 金融再生法ベースによる開示債権

(単位:百万円)

区分	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当引当率 (C)/(A-B)	
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	令和3年3月末	568	218	350	568	100.00%	100.00%
	令和3年9月末	507	162	345	507	100.00%	100.00%
危険債権	令和3年3月末	4,424	2,667	1,281	3,948	89.25%	72.93%
	令和3年9月末	4,639	2,768	1,294	4,063	87.57%	69.18%
要管理債権	令和3年3月末	458	144	36	181	39.57%	11.77%
	令和3年9月末	555	194	45	239	43.08%	12.48%
不良債権計①	令和3年3月末(イ)	5,451	3,030	1,668	4,699	86.20%	68.91%
	令和3年9月末(ロ)	5,702	3,124	1,685	4,810	84.35%	65.37%
不良債権の期中増減額(ロ-イ)		251	94	17	111		
正常債権②	令和3年3月末	81,909					
	令和3年9月末	82,020					
合計(①+②)	令和3年3月末	87,361					
	令和3年9月末	87,723					

(注1)「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

(注2)「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元金の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

(注3)「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する貸出債権です。

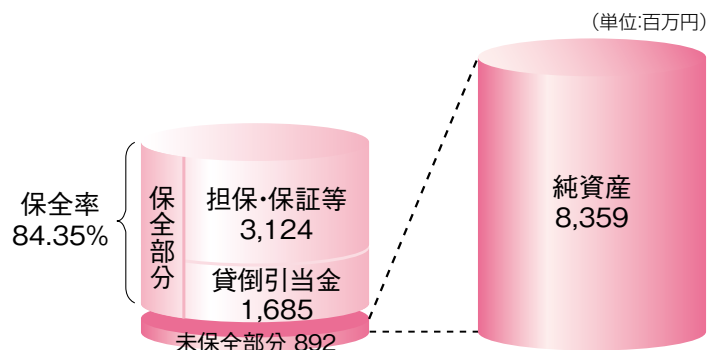
(注4)「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。

(注5)単位未満は切り捨てて表示しております。

## 不良債権の保全状況

当組合の不良債権5,702百万円(上記のロ)のうち84.35%は、担保・保証等や貸倒引当金により保全しておりますので、万が一回収できなくても経営に大きな影響を及ぼす心配はないといえます。

また、未保全部分(892百万円)については利益剰余金などの純資産により十分カバーが可能な水準です。



## 財務諸表

### 中間貸借対照表

(資産) (負債および純資産) (単位:百万円)

科 目	令和2年9月末	令和3年9月末	科 目	令和2年9月末	令和3年9月末
現金	1,941	1,863	預金積金	232,661	234,417
預け金	92,657	93,907	借入金	4,200	4,200
有価証券	62,439	62,421	その他負債	361	318
貸出金	86,842	87,627	賞与引当金	83	66
その他資産	1,590	1,333	退職給付引当金	—	—
有形固定資産	2,140	2,093	役員退職慰労引当金	83	79
無形固定資産	19	15	その他の引当金	62	47
前払年金費用	285	268	繰延税金負債	179	175
繰延税金資産	—	—	再評価に係る繰延税金負債	46	46
債務保証見返	88	41	債務保証	88	41
貸倒引当金	△2,267	△1,818	負債の部合計	237,765	239,394
			出資金	728	870
			利益剰余金	6,741	7,014
			組合員勘定合計	7,469	7,884
			その他有価証券評価差額金	429	402
			土地再評価差額金	72	72
			評価・換算差額等合計	502	474
			純資産の部合計	7,972	8,359
資産の部合計	245,737	247,754	負債および純資産の部合計	245,737	247,754

### 中間損益計算書

(単位:百万円)

損失の部			利益の部		
科 目	令和2年9月末	令和3年9月末	科 目	令和2年9月末	令和3年9月末
経常費用	1,146	1,020	経常収益	1,237	1,223
預金積金利息	5	2	貸出金利息	660	647
借入金利息	△0	△3	預け金利息	61	65
その他の支払利息	0	0	有価証券利息配当金	279	251
役務取引等費用	79	76	その他の受入利息	34	34
その他業務費用	0	0	役務取引等収益	112	115
一般貸倒引当金繰入額	—	—	その他業務収益	6	7
経費	1,031	928	その他経常収益	82	100
その他経常費用	28	15			
特別損失	0	0	特別利益	—	0
法人税・住民税および事業税	1	0			
法人税等調整額	2	4			
中間利益	86	197			

(注1)財務諸表は仮決算速報ベースで作成しております。  
(注2)単位未満は切り捨てて表示しております。

# TOPICS

## トピックス

### 特殊詐欺撲滅で感謝状



感謝状を受け取る新野理事長(右)

特殊詐欺の撲滅に貢献したとして、当組合は2月に群馬県警察から感謝状を授与されました。

群馬県警察からは日ごろから職員がお客さまに積極的な声掛けを行っていること、他の金融機関と連携して詐欺防止に取り組んでいることなどを、大きく評価して頂きました。

### 鉄道文化むらへの寄附



寄附金を手渡す五十嵐専務理事(右)

地元の観光施設である「碓氷峠鉄道文化むら」(安中市)の維持・発展を願い、建物の整備や機関車の管理などに活用してもらうため、当組合は5年前から職員による寄附活動を行っています。

今年度も8月に寄附金贈呈式が行われ、当組合の五十嵐専務理事が碓氷峠交流記念財団の中島理事長に寄附金を手渡しました。当組合は鉄道の歴史を伝える「碓氷峠鉄道文化むら」の応援を、今後も未永く続けてまいります。

### 年金相談会の開催



年金相談会の様子

コロナ禍によりお客さまとの面談が困難な状況下にあります。当組合は十分な感染防止対策を図った上で、年金無料相談会を開催しております。

今年度は9月までに5回開催し、10月以降も4回の開催を予定しております。

相談会ではこれから年金をお受取りになる方や既に年金を受取られている方からのご相談に、年金制度に精通した社会保険労務士が丁寧にお答えしております。

### キャンペーンレディの活動



左が中野職員、右が黛職員

富岡市の観光や物産などの魅力を発信していく「富岡シルクレディ」に当組合職員が選出されており、6月に退任式および認証式が行われました。

2年間に亘り務め上げた中野職員(板鼻支店)には感謝状と花束が贈られ、これから活動していく黛職員(総務部)には委嘱状が交付されました。

### 広報誌の発行



左より106号・107号・108号

オリジナル広報誌「Shin」(平成7年創刊)を年に4回発行し、お客さまにお届けしております。

今年度は6月に106号(特集・キャンプ)、9月に107号(特集・珈琲)を発行し、12月に108号(特集・文具)、来年3月に109号(特集・未定)を発行する予定です。

107号では初めての試みとしてプレゼント付きはがきアンケートを実施したところ、500名近い方々からご返答が寄せられました。

# 群馬県信用組合ネットワーク

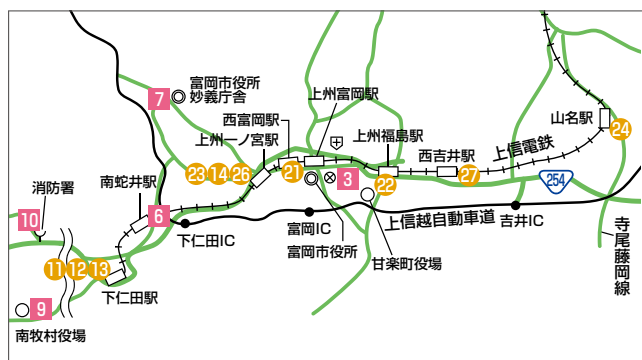
## 安中・松井田地区



## 高崎地区



## 富岡・甘楽地区(一部高崎地区含む)



店番	店名	電話番号	店番	店名	電話番号
20	本店営業部	027-382-6939	12	南牧支店	0274-87-2244
1	松井田支店	027-393-1133	13	西牧支店	0274-84-2221
2	安中支店	027-382-1246	14	南蛇井支店	0274-67-2611
3	原市支店	027-385-6508	21	富岡支店	0274-62-4131
4	横川支店	027-395-3111	22	甘楽町支店	0274-74-3151
5	板鼻支店	027-382-2780	23	一の宮支店	0274-63-2337
6	磯部支店	027-385-5611	24	高崎山名支店	027-346-6174
7	高崎西支店	027-323-2443	25	高崎貝沢支店	027-363-2131
8	高崎支店	027-363-2335	26	妙義支店	0274-73-3239
9	八幡支店	027-343-9777	27	吉井支店	027-387-3811
11	下仁田支店	0274-82-3311	29	榛名町支店	027-374-5545

### ATMコーナー

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 碓氷病院ATM   | 6 南蛇井出張所ATM |
| 2 安中市役所ATM  | 7 妙義出張所ATM  |
| 3 富岡東出張所ATM | 8 高崎西出張所ATM |
| 4 横川出張所ATM  | 9 南牧出張所ATM  |
| 5 磯部出張所ATM  | 10 西牧出張所ATM |

## 苦情・相談専用電話のご案内

当組合ではお客さまからの苦情や相談をお受けする専用電話を設置しております。

苦情・相談窓口  **0800-800-4333** (コンプライアンス室)

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日・金融機関休業日を除く)



群馬県信用組合

(H P) <https://www.kenshinyo.co.jp/>  
(E-mail) [ki-master@kenshinyo.co.jp](mailto:ki-master@kenshinyo.co.jp)



令和3年11月 お問い合わせ先 総合企画部  
〒370-2343 群馬県富岡市七日市871番地1  
電話 0274-62-6171

Shinkumi Bank

